



「卒業・修了を迎えるにあたって」

3月に入り、今年度も残すところあとわずかになりました。3年生は、ほとんどの人が3月7日の公立高校の入学許可候補者の発表を機にそれぞれの進路先が決定し、いよいよ卒業に向けてのカウントダウンが始まります。残り少ない中学校生活を大切にしたいですし、また、1、2年生も、今年度の残りの時間を来年度に向けての準備に最大限の力を集約して欲しいと思います。

まもなく、「第75回卒業証書授与式」を迎え、その後続いて「令和3年度修了式」が行われます。「修了」は、学校の一定の課程の修得を完了したことを意味します。そのため、例えば、中学校2年生を無事に終わると、中学校2年生の課程を修了したと表現することが出来ます。「卒業」の「卒」は、終える、完了するという意味があります。「業」は、なすべきことという意味があります。つまり、「卒業」は、学校の一つ一つの課程の修了を積み重ね、なすべきことを成し遂げたという意味が込められています。3年生に手渡す卒業証書には「中学校の課程を修了したのでこれを証します」と書かれていますので、中学校で修得すべき全課程の修得を完了し、社会に出て自分の力でたくましく生きていけるという証明書になります。この証明書の重みをしっかりと理解した上で、卒業式を迎えてもらいたいと思います。

3年生は、コロナ禍という今までと違った3年間の中学校生活で、貴重な体験を積み、様々な事を学んできました。4月から始まる新しい生活に向けて、準備をしなければならないことがたくさんあると思いますが、まずは卒業を前に、自分が重ねてきた学びをしっかりと振り返り、自分の成長と自分のやるべきことを確かめることが大切です。また、1、2年生は、それぞれの進級に向けて、今年度の学びをしっかりと振り返り、自分の立場・役割をしっかりと考えることが大切です。

この3月という1ヶ月で大きく成長する人がいます。当然、体が急に大きくなったり、急に学力が伸びたりというわけではありません。その人の心構えや気持ちが変わったことで、人間的に大きく、たくましく見えるといった成長です。人は、意識の持ち方一つで行動が大きく変わります。卒業式・修了式を目前に控えた学年末という節目は、生徒が、進学や進級に対する心構えをつくる大切な時期です。これまで、自分が積み重ねてきた学びや仲間と築き上げた絆などを振り返り、かけがえのないこれまでの経験に自信と誇りを持ち、自分が活躍する4月からの新しい生活に向けた心構えを育てて欲しいと感じます。

校長 須田 光明

お知らせ

□PTA会員の皆様より卒業生に「防災備蓄品」が支給されます。校内外での防災意識を高められるようにと、昨年度よりはじまりました。入学時に生徒数分の防災備蓄品をピロティ倉庫に保管しています。一年間使用することなく今年度を終えようとしています。日本は災害の多い国です。「非常食・飲料水・簡易トイレ」をご家庭に持ち帰った際は、ぜひ「防災」について親子で話し合ってください。

□「自転車損害賠償保険」について、千葉県では令和4年7月1日から「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（平成29年4月施行）」の改正により、加入が努力義務から「義務」となります。自転車での加害事故では賠償額が1億円のケースや自転車事故による損傷部位別死者数の割合では頭部が60%を超えています。

□2月～5月の多くの青少年がはじめてスマートフォン・タブレットを手にする春の卒業・進学・新入学の時期に、安心・安全なりようのための「春のあんしんネット・新学期一斉行動」啓発活動を実施しています。お子さまが犯罪被害に巻き込まれないように家庭でのルール作りをお願いします。裏面に掲載しましたので、是非ご覧ください。

□レベル3の状況が続いております。いざという時のためにも、ChromeBookの持ち帰りも推奨します。あの時持ち帰ればよかったということのないように、お願いします。

□先月号でもお伝えした通り、欠席遅刻連絡について、できる限り「すくすくメール」で配信した「欠席連絡専用フォーム」をご活用ください。速やかにお子様の状況確認するためにもぜひご協力をお願いします。

地域との交流

■3月7日に、1年生で茶木を植樹します。今年は藤棚周辺に植えます。この日のために、学校ボランティアの方々や用務員さんには様々な準備でご協力いただきました。トラックを貸していただいたこと、北小学校から耕運機を借りたこと、植える場所を耕してくださったこと、植えやすいように目印をつくってくださったこと。来年度新一年生とともに、地域の方々に感謝しつつ、1年生の時に植えたお茶の木で茶摘みしましょう。

■「更生保護女性会」の皆様が、「人形しおり」を卒業生のために作り、先日とどけてくださいました。東葛支部の田中中卒業生女性会の皆様の手作りの作品です。ひとつひとつの人形のたすきには異なるメッセージが書かれています。1年生での高齢者へのクリスマスカードに続く、田中中と田中地区の伝統でもありますので、卒業生の記憶に残し、引き継いでほしいものです。

田中中カウンセリングルーム

直通電話（水曜日11時から17時）

04-7135-2421

悩みごとはありませんか？保護者の方もご利用できます。

【3月と4月の予定】

3月3日	（木）三年生を送る会
3月9日	（水）卒業式予行
3月11日	（金）卒業式
3月15日	（火）1年生校外学習
3月18日	（金）学年末保護者会
3月23日	（水）大掃除午前日課
3月24日	（木）修了式
4月5日	（火）始業式
4月8日	（金）入学式
4月20日	（水）保護者会

守りたい 大切な自分 大切な誰か

～忘れないで！ネットには危険がいっぱい！～

SNSを通じて多くの子どもたちが性被害等にあっていますが、ここで2つの事例を紹介します。

事件1 SNSで仲良くなった女友達と、写真のやりとりをしていたら…

1 SNSで、同年代の女の子Bさんと友達になったAさん。

2 ある日、Bさんの下着姿の写真が送られてきて…

3 実は相手はおじさんで、送った写真をもとに脅迫される事態になってしまった！



SNS上では、相手が同性だと思って安心していても、あなたをだますための嘘の情報かもしれません。「同性同士だったから」「楽しかったから」等と思っても、裸や裸に近い画像等は絶対に送ってはいけません。このような事例では、男の子も被害に遇っています。一度ネット上に流出した画像を全て削除・回収することはできません。また、このような画像を送らせたり、他の人に転送することは犯罪です。

事件2 SNSに「家出したい」と書き込んだら、優しい人が声をかけてきて…

1 自宅にいたくなくて「家出したい」とSNSに書き込んだら…

2 親切そうな人が声をかけてくれた

3 遊びにいった家で複数の男性達に監禁され、性被害にあってしまった！



犯罪者は優しい言葉をかけてきたり、困りことを助けるふりをして子供に近づき、徐々に子供の信頼を得た上で会合約束をして犯行に及ぶという事案が発生しています。たとえ相手が優しい言葉等を使って近づいてきても、SNS等で知り合った人と安易に会うことは危険です。困ったときには、家族や学校の先生に相談したり、公共の相談窓口等に連絡しましょう。

児童が自ら撮影した画像に伴う被害に遭った児童の推移

被害児童の学年別割合では中学生が全体の47.7%を占めており、高校生を含めると全体の57.7%を占める。



サイト別の被害児童数

「Twitter」に起因する被害児童数が約4割を占めるとともに、「Instagram」「TikTok」「KoeTomo」に起因する事例の被害児童数が近年より増加している。



フィルタリングは必ず設定しましょう！！

被害児童の約4割が、被害時にフィルタリングを利用していませんでした。フィルタリングには、子供の年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリケーションの利用を制限したり許可または制限することが出来る機能もあります。また、携帯電話機だけでなく、タブレット端末や携帯ゲーム機等の子供が利用する機器に適切な適切な管理が重要です。子供に携帯電話機等を持たせる場合は、子供を犯罪から守るためにも、保護者の皆様が積極的にフィルタリングの設定をしてあげましょう。



保護者の皆様のご指導が、子供を犯罪から守ります！

- 1 名前や誕生日といった推測されやすいパスワードは使わない。
- 2 友達であってもパスワードは教えない。
- 3 他人のID・パスワードは、犯罪になる場合があるため、絶対に使わない。

親子で見てもらいたいサイトの紹介

●警察庁Webサイト「子供の性被害対策」
被害防止のためのマンガや動画を紹介
https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/prevent/materials.html

●文部科学省のYoutube公式サイト
「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」の紹介
https://www.youtube.com/playlist?list=PLQpGzGZ3rbA0Q2Y-4u_Mx-8Cn13GyDl

「ペアレンタルコントロール」の活用

保護者が子供のライフサイクルを見通して、その発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理すること「ペアレンタルコントロール」が大切です。内閣府では子供が安全に安心してネットを利用できるように親子のルールづくりやペアレンタルコントロール等が紹介されています。

●内閣府ホームページ
保護者向け普及啓発リーフレット集
https://www8.cao.go.jp/youth/kankyou/internet_use/leaflet.html

ペアレンタルコントロール
(親としての)

コントロール
(制限)

性被害に関して悩んでいる、話を聞いてほしいときの相談窓口(民間団体)

●NPO法人ぱっぷす (受付時間: 24時間365日、いつでも)
☎050-3177-5432 (匿名可) ■メールによる相談 メールアドレス: papa@papa-jp.org
■サイトURL: <https://www.papa.jp>



困ったときの相談窓口(行政機関)

●びったり相談窓口 (匿名可)
子供の性被害等に関する相談窓口案内Webサイト
<https://www.npa.go.jp/saizensu/safetylife/zyomen/saizensu/index.html>

●警察相談専用電話 ☎#9110
▲都府県の警察本部の相談窓口につながります。

●性犯罪被害相談電話 ☎#8103

●24時間子供SOSダイヤル (匿名可)
いじめや虐待、いじめや虐待の被害に遭った子供やその家族が、すぐに相談できる窓口です。
☎0120-0-78310 (電話代無料)

●性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター (匿名可)
☎#8891